

第45回

朋之会

2022年4月10日(日)

13時開演(12時20分開場)

能
能
能

盛久
百萬
玄象

武田 文志

武田 宗典

小早川 修



会場

二十五世観世左近記念

観世能楽堂

GINZA SIX 地下3階

写真撮影 前島吉裕

お客様へのお願い

- ・本公演は、入場者数を総席数の8割程度に制限させていただきます。密を避けるため、開場時間前のご来場は極力お控え頂きます様、お願い申し上げます。
- ・体調不良(37度以上の発熱・嘔吐・下痢・咳・痰・味覚障害など)、また2週間以内に海外渡航歴があるお客様は、ご来場をお控え頂きます様お願い致します。
- ・ご来場の際は、必ずマスクの着用をお願い致します。

- ・受付にて検温を実施しております。ご協力ください。(体温が37度以上のお客様は、ご入場をお断りする場合がございます)
- ・能楽堂へご入場の際は、入口前に行列が出来ません様、ご協力をお願い致します。
- ・館内各所に消毒液を設置しております。随時手指の消毒をお願い致します。
- ・出演者・スタッフは検温を実施し健康状態を確認しております。
- ・政府・東京都など行政の要請により中止または延期となる場合もございます。
- ・諸般の事情により、演目・上演形式・出演者の変更の場合もございます

第四十五回 朋之会

令和四年四月十日(日)

十三時開演
十二時二十分開場
於 観世能楽堂

おはなし 武田 祥照

13:20頃

能 盛 久

シテ(平盛久) 武田 文志

ワキ(土屋三郎) 大日方 寛

大鼓 原岡 一之
小鼓 幸 正昭 笛 粟林 祐輔

間(下僕) 三宅 右矩

後見 野村 昌司
武田 尚浩

小早川 泰輝 浅見 慈一
田口 亮二 岡 久広
地謡 佐川 勝貴 武田 志房
坂井 音雅 武田 友志

狂言 鐘の音

シテ(太郎冠者) 高澤 祐介

アト(主) 三宅 右矩

15:30頃

能 百 萬

子方(百萬子) 武田 智継
シテ(百萬) 武田 宗典

ワキ(僧) 野口 琢弘

大鼓 柿原 光博 太鼓 澤田 晃良
小鼓 飯田 清一 笛 熊本俊太郎

間(釈迦堂門前ノ者) 高澤 祐介

後見 北浪 貴裕
武田 宗和

松木 崇俊 郷 三枝子
小早川 康充 武田 友志
地謡 武田 崇史 武田 祥照
田口 亮二 小早川 泰輝

(休憩二十分)

17:00頃

能 玄 象

ツレ(藤原師長) 松木 千俊
ツレ(姥) 佐川 勝貴
ツレ(龍) 武田 崇史
前シテ(尉) 小早川 修
後シテ(村上文雄)

ワキ(從者) 御厨 誠吾

大鼓 大倉慶乃助 太鼓 大川 典良
小鼓 曾和伊喜夫 笛 松田 弘之

間(師長ノ下人) 金田 弘明

後見 坂井 音雅
浅見 慈一

松木 崇俊 北浪 貴裕
小早川 康充 岡 久広
地謡 武田 祥照 武田 宗和
野村 昌司 武田 尚浩

附 祝言

(終了予定 十八時半)

あらすじ

〈盛久(もりひさ)〉

源氏に捕らえられた平盛久(シテ)は、鎌倉へ護送される途中、警護役の土屋三郎(ワキ)の許しを得て日頃より崇敬する清水の観世音に参詣する。鎌倉に到着した盛久は土屋にこれまでの厚情を謝し、処刑は翌日と聞いて経文を誦誦し、土屋と共に経文の功徳を称える。その夜盛久は、まどろみの中に霊夢を見る。

翌朝いよいよ由比ヶ浜の刑場で太刀取(ワキツレ)が太刀を振り上げると、盛久の持っていた経巻が光り輝き、目がくらんだ太刀取は刀を取り落とし二つに折れてしまう。この知らせを受けた頼朝は処刑を取りやめて盛久を召し出し、詳しく尋ねると二人は同じ霊夢を見ていたことがわかる。頼朝は奇特を感じ盛久を許して盃を与え、盛久は祝いの舞を舞う。

〈百萬(ひやくまん)〉

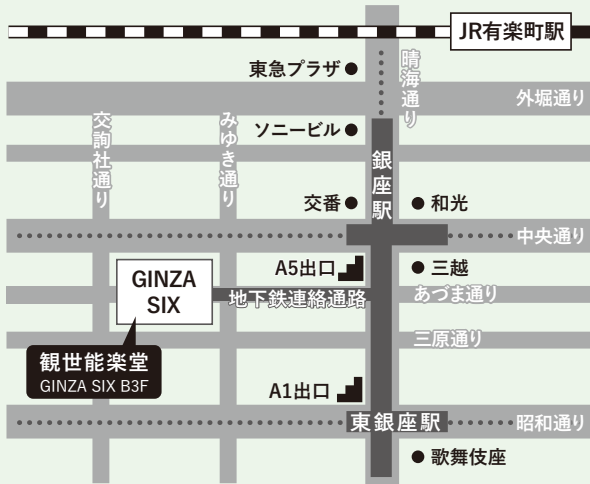
和泉国三吉野の僧(ワキ)が南都西大寺で拾った子供(子方)を伴い、嵯峨清涼寺の大念仏に赴く。門前の者(シテ)に何か面白いことはないかと尋ねると、百萬(シテ)という物狂いを呼び出し、百萬は親子の情を誦い舞い、我が子に合わせ給えと仏に祈る。それを見ていた子供は、この物狂いは自分の母であると言い出したので、僧が百萬に物狂いとなつた訳を尋ねると、百萬は夫と死別し子供と生き別れとなつた次第を語り、法楽の舞を舞う。そして奈良の都から我が子を捜して旅をしてきたことを誦い舞い祈念するのを見て、僧は子供と対面させる。百萬は喜びの涙にむせび、我が子と共に奈良へ帰って行った。

〈玄象(げんじょう)〉

琵琶の名手藤原師長(ツレ)は、更なる修行の為に唐(渡る旅の途中、須磨浦(神戸市)で老夫婦(前シテ・前ツレ)に宿を借りる。老夫婦に乞われて師長が琵琶を弾くとわか雨が降り始めるが、尉は屋根に苦を暮き雨音を和らげる。感心した師長が演奏を頼むと、尉は琵琶を、姥は琴を弾する。その素晴らしさに己の未熟さを恥じた師長は渡海をやめて帰ろうとするが、老夫婦はこれ呼び止め、我々は師長の渡海を止めようとして現れた、村上天皇と梨壺の女御であると明かして消え失せる(中人)。やがて村上天皇(後シテ)が在りし日の姿で現れ、龍神(後ツレ)に命じて龍宮にある琵琶の名器「獅子丸」を取り寄せ、師長に授けて秘曲を伝える。そして自ら舞を舞った後、飛行の車に乗って去っていった。

二十五世観世左近記念 観世能楽堂

東京都中央区銀座6-10-1 GINZA SIX 地下3F



- 銀座駅/東京メトロ銀座線・日比谷線・丸の内線 A5出口より徒歩2分
- 東銀座駅/東京メトロ日比谷線・都営浅草線 A1出口より徒歩3分
- 有楽町駅/JR山手線・京浜東北線/東京メトロ有楽町線 銀座出口より徒歩10分

チケット料金

*学生料金は通信、放送大学等を除く、30歳未満の学生に限らせて頂きます。

1 回 券
年間通し券(5枚セット)

一般: 6,000円 学生: 2,000円
一般: 22,000円 学生: 7,000円

朋之会特別指定席のご案内

当会は全席自由席ですが、ご希望のお客様には追加料金・2,000円にて、お座席の指定を承ります。ご鑑賞の5日前までに、下記TEL・FAX・Eメール・WEBより、ご希望のお座席をご連絡下さい。事務局からの折り返しのご連絡をもって確定となります。

チケット取り扱い

お電話 070-7477-8199 FAX 044-387-3042
(事務局: 佐川勝貴) (お名前・ご住所・TEL・FAX・ご希望チケット・枚数をご記入ください)
メール hounokai2013@gmail.com WEB 観世ネット
(お名前・ご住所・TEL・FAX・ご希望チケット・枚数をご記入ください) https://www.kanze.net

次回予告 令和4年6月11日(土) 13時開演

能 養 老 武田 祥照
能 弱法師 盲目之舞 武田 宗和